

本機が動作しない。	・親機から電源が供給されていない。	・親機の配線を正しく配線し、電源を供給してください。
	・配線が間違っている、または断線、ショートしている。	・正しく配線してください。（「8 . 配線方法」参照）
	・親機に電源を入れた状態で本機を配線した。	・配線終了後に電源を投入してください。
	・電源が供給されていない。	・AC100Vの電源を供給してください。（「5 . 設置方法」参照）
ライトが点灯しない。	・電球がゆるんでいる。	・電球を締め直してください。なお、消灯直後は電球付近が高温になっていることがあります。やけどには注意してください。（「7 . 電球の交換」参照）
	・電球が切れている。	・電球を交換してください。（「7 . 電球の交換」参照）
	・昼夜判別ボリュームが「☾」側になっている。	・昼夜判別ボリュームを調整しなおしてください。「☀」側に回すことで、より明るいうちに点灯ようになります。（「9 . 機能の設定」参照）
	・検知エリアが正しく設定されていない。	・センサ検知によってライトが点灯します。検知エリアを正しく設定してください。（「4 . エリアと画角」参照）
	・外部センサ入力機能が「ANDモード」になっている。	・外部センサを接続していない時は、「ORモード」にしてください。（「9 . 機能の設定」参照） ・外部センサと本機のセンサの両方で検知する様に各センサの検知エリアを設定してください。（「9 . 機能の設定」参照）
ライトが消灯しない。	・ライト点灯時間設定が長い。	・ライト点灯時間切換の設定を確認してください。（「9 . 機能の設定」参照）
	・検知エリア内に人、または動く物がいる。	・検知エリア外に移動してしばらく待ってください。
	・ライト点灯時間設定スイッチが「テスト」になっていない。	・歩行テスト時は「テスト」に設定してください。（「9 . 機能の設定」参照）
	・外部センサ入力機能が「ORモード」で、外部センサが検知している。	・外部センサの検知エリアを確認してください。
人を検知しない。	・検知エリアが正しく設定されていない。	・エリアと画角を参照に人を検知するように設置してください。（「4 . エリアと画角」参照）
	・センサカメラの真下付近を人が通過している。	・上下角度の調整を行い下方向へ傾けることで検知ようになります。
	・センサカメラ部に向かって人が進入してくる。	・故障ではありません。熱線式のセンサは、特性上センサカメラ方向に向かってくる人を検知しにくい場合があります。可能な限り人が検知エリアを横切るように取り付けてください。（「5 . 設置方法」参照）
	・検知エリアがガラスなどに遮られている。	・外部センサを「ORモード」で接続し、人が横切るように設置してください。（「9 . 機能の設定」参照）
	・外部センサ入力機能が「ANDモード」で、本機と外部センサのどちらかのエリアでしか検知していない。	・故障ではありません。熱線式のセンサはガラスごしの物体を検知できません。ガラスなどに遮られない場所に取り付けてください。（「5 . 設置方法」参照）
音声が出ない。	・配線が間違っている、断線、ショートしている、または中継して使用している。	・正しく配線してください。（「8 . 配線方法」参照）
	・マイク感度ボリュームが「Min.」側になっている。	・マイク感度ボリュームを「Max.」側へ回してください。（「9 . 機能の設定」参照）
センサが検知しない。 (画像は写っている。)	・AC100Vが切れている。 (断線またはブレーカーが落ちている。)	・コンセントやブレーカー確認後、問題が解決しなければ工事店にご相談ください。
センサ検知しているが検知物体(人)が画面に表示されない。	・検知エリア内に犬や猫などの小動物がいる。	・センサ感度スイッチを「L(低)」に設定してください。（「9 . 機能の設定」参照）
	・検知エリア内に洗濯物や木の枝など動くものや急激な温度変化を起こすものがある。	・外部センサを接続し、「ANDモード」で使用することをお勧めします。（「9 . 機能の設定」参照）
	・外部センサのエリアがカメラの画角と一致していない。	・センサ感度スイッチを「L(低)」に設定してください。（「9 . 機能の設定」参照） ・動くものや急激な温度変化を起こすものを検知エリア外へ移動させるか、エリアの設定を変更してください。（「4 . エリアと画角」参照）
画像が暗い、ぼやけている、または表示されない。	・配線が間違っている、断線、ショートしている、または中継して使用している。	・外部センサのエリアとカメラ画角を合わせてください。（「5 . 設置方法」、「9 . 機能の設定」参照）
	・カメラ窓が汚れている。	・配線を確認の上、正しく配線してください。（「8 . 配線方法」参照）
	・外気温が急激に下がり、カメラ窓にくもりが発生した。	・レンズクリーナもしくは湿らした柔らかいきれいな布でレンズを掃除してください。
画面に白い線が現れる。	・カメラの画角内に明るい光源がある。	・製品内部と外部との温度差がなくなると、もとに戻ります。
画面がちらつく。	・近くに蛍光灯がある。	・光源を取り除くか、画角内に光が入らないように角度を調整するか、本体の取り付け位置を変えてください。（「5 . 設置方法」参照）
常夜灯がつかない。	・常夜灯モードが「OFF」になっている。	・故障ではありません。蛍光灯の光を遮ってください。
常夜灯がタイマ時間経過後も消えない。	・本機の近くに照明などがあり、周囲が明るい。	・常夜灯モードを設定してください。（「9 . 機能の設定」参照）
常夜灯が途中で消えた。	・センサカメラ部に一時的に明るい光が当たった。	・昼夜判別ボリュームを「☀」側に調整してください。（「9 . 機能の設定」参照）
	・センサカメラ部に一時的に明るい光が当たっている。	・故障ではありません。暗くなってしばらくすると常夜灯モードに戻ります。ただし、タイマは再スタートします。
	・ライトが連続点灯状態の時、すぐ近くの壁などに反射して誤動作している。	・昼夜判別ボリュームを「☀」側に調整してください。（「9 . 機能の設定」参照）
		・センサカメラ部に光が入らない場所に取り付けてください。（「5 . 設置方法」参照）
		・ライトが直接反射しない方向に調整してください。（「5 . 設置方法」参照）

保証書

LC - 200

保証期間  
お買い上げ年月日

より  
1年間

販売店名

お客様ご住所(〒  
お名前

＜お願い＞

・太線枠内はお買い上げ時に必ず記入を受けてください。  
・記入なき場合は、本書は無効となります。  
・本書は大切に保管してください。  
再発行はいたしません。

（保証規定）

・保証の範囲  
1 . 施工説明書に記載された正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申しつけください。  
2 . この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。

・保証の条件  
次に該当する故障は、保証期間(お買い上げ日より1年間)であっても実費にて修理を申し受けることがあります。  
1 . 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。  
2 . 災害など不可抗力による損害。  
3 . 本書紙面に必要事項の記入がない場合。また本書と該当製品の提示がない場合。

オステックス株式会社

本社 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜4-7-5  
TEL(077)524-0211 FAX(077)524-3201  
東京営業所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル18F  
TEL(03)3344-5775 FAX(03)3344-5734

02.\*\* 5810490 MADE IN JAPAN

ビジュアルセキュリティ

# センサライトカメラ LC-200

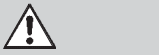
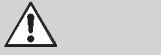
## 施工説明書

はじめに

このたび、ビジュアルセキュリティ センサライトカメラ LC-200をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書は、製品を設置する前に必ずお読みのうえ、正しく取り扱いをしていただくようお願いいたします。作業後は、この製品を使用する方にお渡しく下さい。この製品はVS-100(液晶モニター付画像記録ユニット)専用です。VS-100と接続してご使用ください。

注意事項の表記について














この施工説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな記号を使っています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次に表記しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
---	---	---	---

絵表示の例

Ⓢ 記号は禁止を表します。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くことを禁止しています)が描かれています。

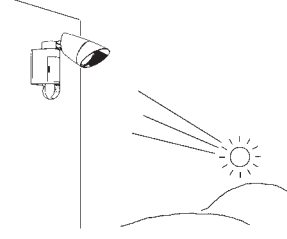
 <b>警告</b>		 <b>注意</b>	
燃えやすい物の近くでの使用禁止		水や湿気の多いところでの使用禁止	
		この製品は防沫型ですが、風呂場など湿気の高い場所、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。またホースなどで水をかけないでください。火災、感電の原因となります。	
異常なときは電源プラグを抜く		取り付け方向を守る	
感電注意		取り付けには上下の方向性があります。施工説明書にしたがって正しい方向に取り付けてください。火災・感電の原因となります。	
分解・改造しない		規定電圧以外での使用禁止	
しっかりと取り付ける		ライト用電源は交流100Vで、使用してください。火災、感電の原因となります。	
電気工事は専門家に		やけど注意	
		電球やライトフードは点灯中、消灯直後は熱いため絶対に手でふれないでください。やけどの恐れがあります。	
		定期点検の実施	
		安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。不具合がありましたらそのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。	

### お断り

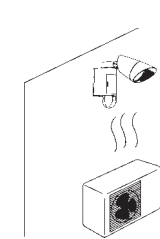
この商品は人体を検知し通報および映像の撮影をするもので、盗難防止器ではありません。万一発生した盗難事故などによる損害については責任を負いかねますので御了承願います。

正しく取り付けいただくために

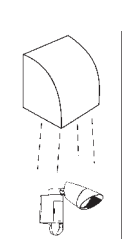
次のような場所には取り付けないでください。



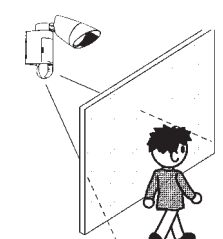
カメラ・センサの画角内に直射日光が入る、または間接的に日光が入る場所。



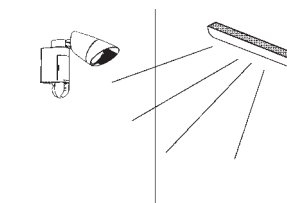
換気扇やエアコンの室外機などの風の影響を受けたり、急激な温度変化がある場所。



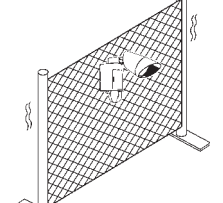
排気ダクトなどの蒸気・油などがかかる場所、またはその周辺。




検知エリアまたはカメラ画角が遮られるような場所。



蛍光灯に近接している、または強力な照明が直接向けられている場所。



振動や衝撃の影響を受ける不安定な場所。



洗濯物や木々の枝など、動くものがある場所。

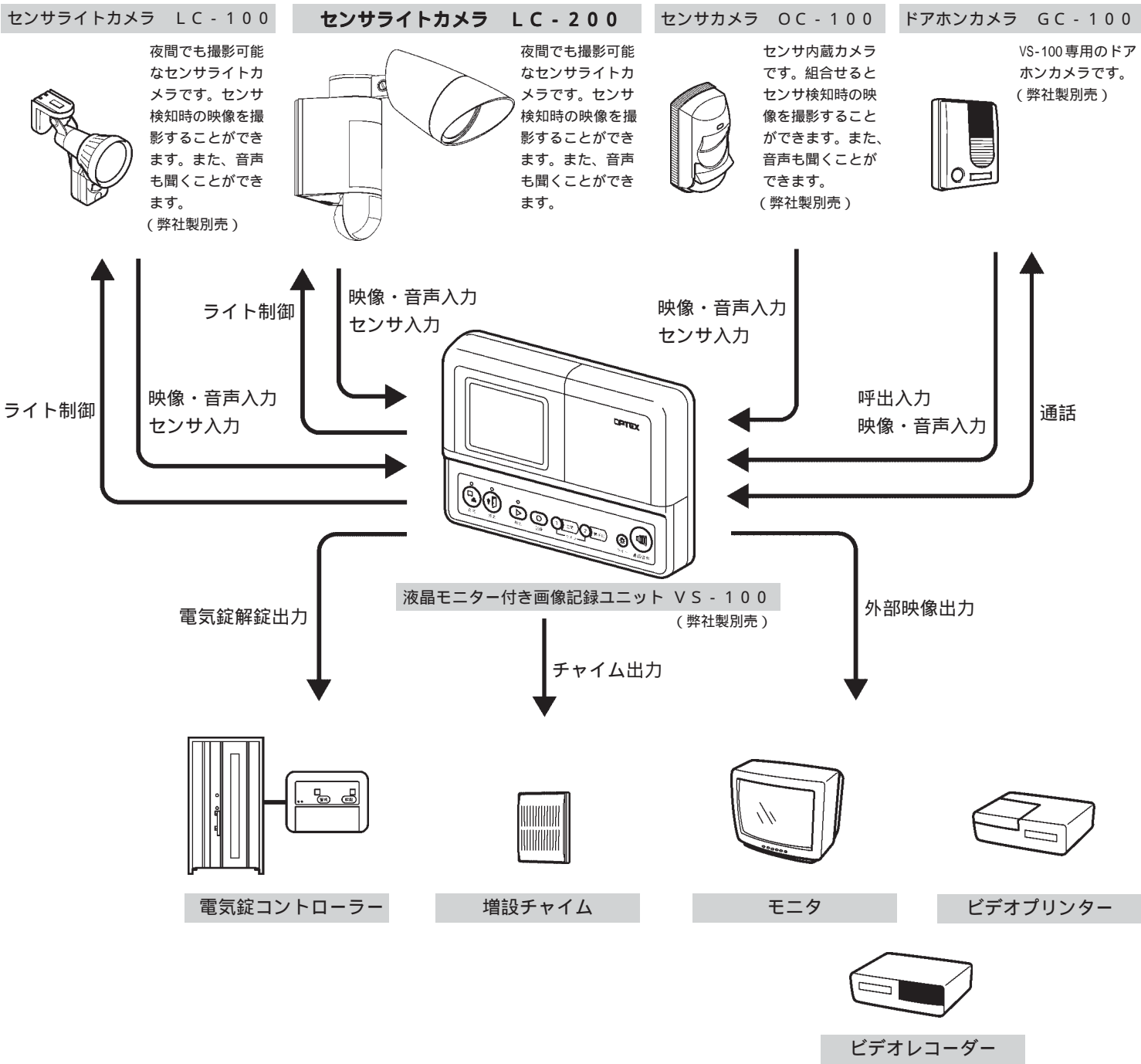
02.\*\* 5810490 MADE IN JAPAN

1．製品の特長

信頼性の高い人体検知センサを搭載したセンサライトカメラです。  
人体検知センサと連動してライト点灯と撮影が可能です。  
VS - 100（液晶モニター付き画像記録ユニット）に接続することで、センサ検知時にVS - 100で画像を記録することができます。  
カメラ映像、センサ信号、音声を2線で送るため、施工が簡単です。  
壁にフィットするデザインで建物と一体感が得られます。  
カメラと人体検知センサの一体化により、画角・検知エリアの調整が簡単です。  
ライト・センサカメラ部はそれぞれ広い調整範囲を持ち、設置性に優れています。  
常夜灯モードがあり、夜になると約30％点灯させることができます。（タイマー機能付）  
ライト制御入力端子より、VS - 100から強制点灯させることができます。  
外部センサを接続することで、検知範囲を広げたり、検知性能を上げることができます。  
防沫構造の防水性能により、屋外での使用が可能です。

2．システムの構成

LC - 200は単体でのご使用はできません。必ず専用の親機<別売品：液晶モニター付き画像記録ユニット(VS - 100)>と接続してご使用ください。  
詳しくは「8．配線方法」を参照してください。  
LC - 200が訪問者を検知したときに親機（VS - 100）がチャイムで知らせ、同時にその瞬間や前後の映像を、静止画でデジタル記録します。  
記録した画像は親機（VS - 100）の液晶モニターで再生することができます。  
詳しくは親機（VS - 100）の施工説明書、取扱説明書をご覧ください。



センサライトカメラ、センサカメラ、ドアホンカメラはVS - 100に組み合わせて合計2台まで接続できます。  
LC - 200で捕らえた音声はVS - 100のスピーカで聞くことができます。ただし、通話はできません。  
通話が必要な場合はドアホンカメラ（別売品：GC - 100）をお買い求めください。

9．機能の設定

点灯モード選択

ライトには4つの点灯パターンがあり、お好みに応じて設定を行ってください。  
スイッチにより各モードを選択することができます。

出荷時の設定：「常夜灯OFF」



常夜灯OFF（センサ連動）：センサが人を検知するとライト点灯を行います。（ライト点灯は昼夜判別機能の設定によります。）



常夜灯タイマー（6h）：日没より約30％点灯 6時間後に消灯します。



常夜灯タイマー（3h）：日没より約30％点灯 3時間後に消灯します。



常夜灯（朝まで）：日没より夜明けまで約30％点灯。

常夜灯モード設定時（～の時）もセンサが検知した場合は点灯します。  
点灯／消灯のタイミングは昼夜判別機能の設定によります。  
センサ検知時と常夜灯のライトのタイミングは、ずれる場合があります。

外部センサ入力機能

外部センサ入力機能は本機の外部センサ入力に別のセンサを接続することで、検知範囲を広げたり、検知性能を上げることができます。  
接続する外部センサ機器はN.C.タイプ（b接点）の出力を持ったものを使用してください。

外部センサを接続する場合は、外部センサの検知エリアに人が入った時、本機のカメラで撮影できる場所に設置してください。  
外部センサを接続しないときは「ORモード」で使用してください。

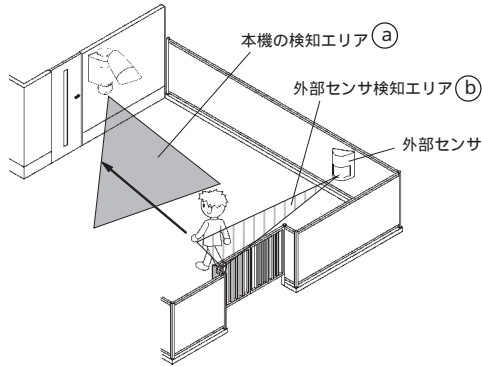
出荷時の設定：「ORモード」

ORモード

本機が外部センサのどちらかの検知エリアに入ると、センサ検知・撮影を行います。  
片方の検知エリアで動作するため、検知範囲を広くすることができます。  
外部センサを接続しない時はこの位置に設定してください。



(a)：検知、ライトの点灯を行います。  
(b)：検知、ライトの点灯を行います。



昼夜判別機能

本体の昼夜判別ボリュームにより、どのくらいの明るさでライトを点灯させるかを設定できます。調整範囲は約10 lx～約100 lxです。  
（調整範囲は光源・周囲環境により変わることがあります。）  
通常は中間でご使用ください。夕方より点灯します。

☀ 側に回すと周囲が明るい時に点灯します。  
いっぱいまで回し切ると周囲の明るさに関係なく点灯します。

☾ 側に回すと周囲がくらい時に点灯します。

出荷時の設定：「☀」と「☾」の中間



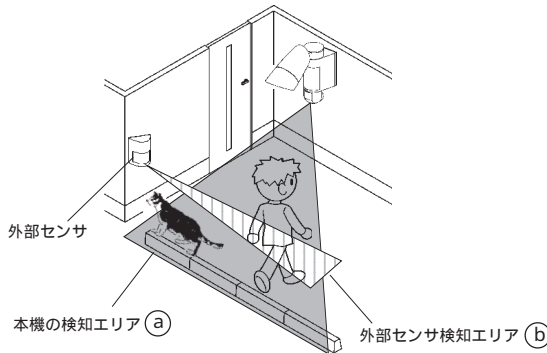
センサ検知時のライト点灯と常夜灯の点灯／消灯のタイミングは、ずれる場合があります。

ANDモード

本機と外部センサの両方の検知エリアを初めに検知してから30秒以内に人が通った時に、センサ検知・撮影を行います。（1つの検知エリアを通過して30秒以上経つと、もう1つの検知エリアを通過しても、センサ検知はされません。）  
人や猫などがどちらかの検知エリアだけを通過した時にはセンサは検知しませんので誤動作の対策に有効です。



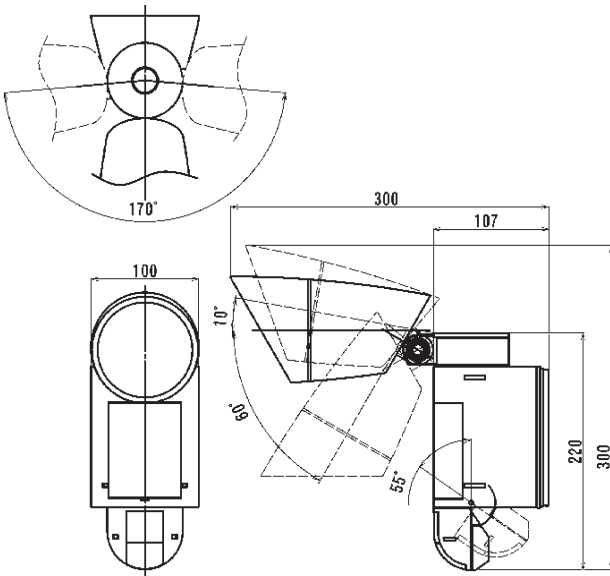
(a) から (b) または (b) から (a)：検知、ライトの点灯を行います。  
(a) のみ、又は (b) のみ：検知しない。



10．仕様

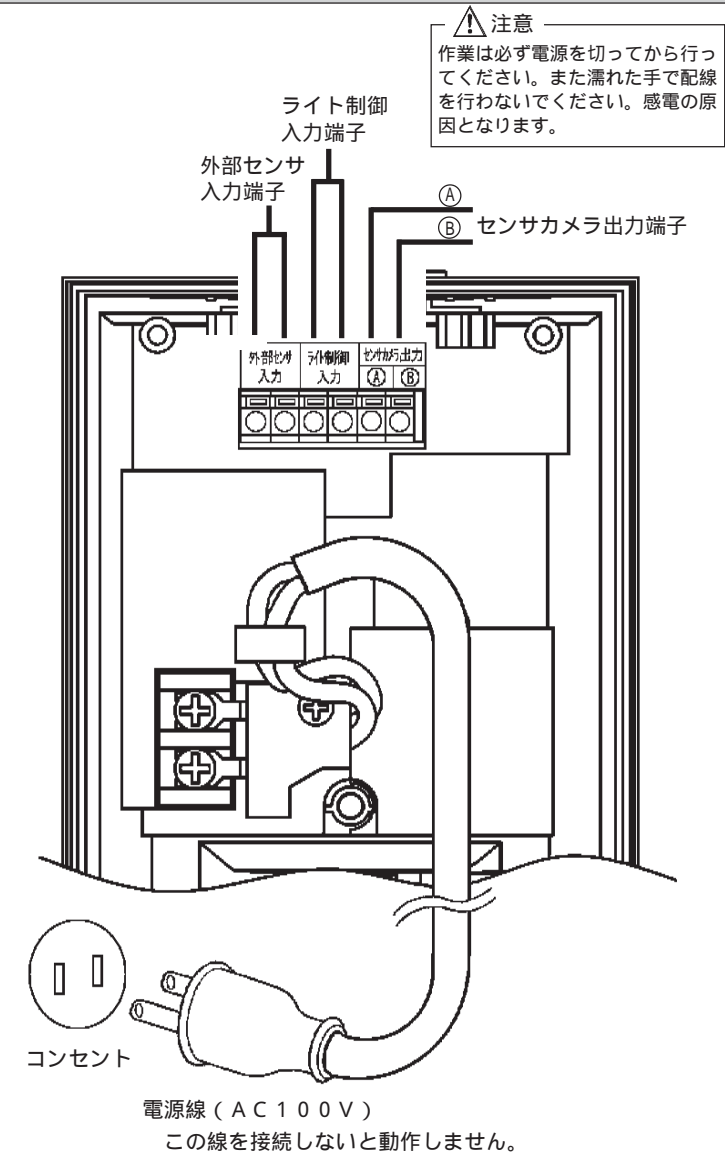
本体	型式	LC - 200
	定格電圧	AC100V
	定格消費電力	85W
	定格周波数	50 / 60 Hz
	使用温度範囲	-10 ～ +50
	使用湿度範囲	85％（最大）
	保護構造	防沫構造（IP×4）
	設置場所	屋外
	外形寸法(mm)	ライト含む 縦 約300 × 横 100 × 奥行 約300 本体のみ 縦 220 × 横 100 × 奥行 107
	質量	約1600g
カメラ部	撮像素子	1/4インチ カラーCCD
	カメラ画角（水平×垂直）	約65° × 48°
	有効画素数	約25万画素
	最低被写体照度	2.5 lx
センサ部	検知方式	熱線式
	検知エリア	最長部5m、約60°
	検知速度	0.3～1.5m/s
	感度切換	3段階切換 H（高）/ M（中）/ L（低）
	立ち上がり時間	電源投入後 約30秒
	角度調整範囲	センサカメラ部 左右±85° / 上： 0°、下：55° ライト部 左右±85° / 上：10°、下：60°
ライト部	昼夜判別機能	約10 lx～100 lx、100 lx超（調整範囲）
	ライト点灯時間切換	Test（約2秒）、約30秒、約60秒
	外部センサ入力	外部センサを接続することで本機との「AND」・「OR」動作可能

— 寸法図 < 単位：mm > —





8 . 配線方法



電源線 : AC 100V を接続してください。  
外部センサ入力端子 : 外部センサからの信号を入力します。  
< b 接点 (N.C. ) >  
ライト制御入力端子 : VS - 100 (液晶モニター付き画像記録ユニット) - の外部機器制御出力 ( NO. -COM ) に接続します。  
・ VS - 100 のライトボタンを押すと、ライト点灯時間切換スイッチで設定された時間、ライトが点灯します。  
・ 点灯中にライトボタンを押すと点灯が延長されます。  
センサカメラ出力端子 : VS - 100 のセンサカメラ・ドアホンカメラ接続端子に接続

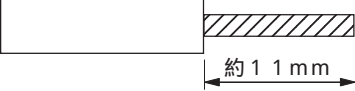
センサカメラの電源は VS - 100 より供給されます。  
VS - 100 の電源を切った状態で配線してください。  
VS - 100 の電源を入れた状態で LC - 200 を配線すると正常に動作しません。  
LC - 200 の電源を入れた後、VS - 100 の電源を入れてください。

- 注意**
- ・ 配線には 4 芯線 (ライト制御入力を使用しない場合は 2 芯線) を使用してください。同軸ケーブルは使用できません。
  - ・ カメラを 2 台使用する場合は、必ず 1 台につき 1 本の多芯線を使用してください。
  - ・ 1 本の多芯線で 2 台のカメラを配線すると、正常動作しないことがあります。
  - ・ 配線は AC 100V、AC 200V やその他の電源線、電灯線、電話回線と一緒にすると、映像や音質が乱れたり、誤動作の原因となることがあります。別配管にするか離して配線してください。
  - ・ 既設の配線を利用される場合は、その配線の種類によって正常に動作しないことがあります。配線を入れ換えることで正常動作に戻ります。
  - ・ 露出配線や地中配線を行う場合は、必ず配管を使用し、雨や湿気から守ってください。
  - ・ 配線进行中継して使用することはおやめください。

配線はポリエチレン絶縁ビニール被覆ケーブルを使用してください。  
配線径、配線可能距離は下記表を参照してください。

単芯線	0.65mm	0.9mm	1.2mm
距離	50m以下	100m以下	100m以下

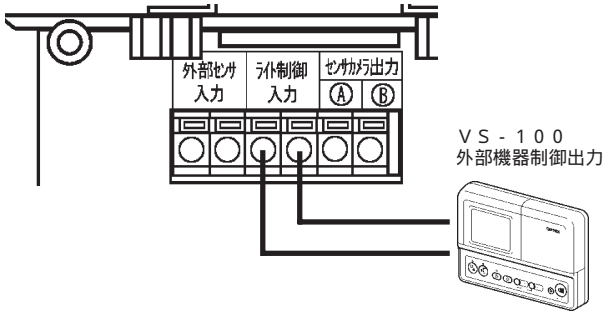
配線のむき長さは約 11mm です。



9 . 機能の設定

ライト制御機能

センサに関係なく、ライト点灯時間切換スイッチにて設定された時間、連続点灯することができます。VS - 100 の外部機器制御出力 ( NO. - COM ) に接続し、ライトボタンにて点灯します。点灯中にライトボタンを押すと点灯が延長できます。



ライト点灯時間切換

本体のライト点灯時間切換スイッチにより、センサ検知時のライト点灯時間を設定できます。  
出荷時の設定 : 「Test」

- テスト : 歩行テストを行うときに設定します。昼夜 ( 周囲の明るさ ) に関係なくライトが点灯します。この状態でセンサの検知エリアの確認を行ってください。ライトの点灯時間は約 2 秒です。
- 30 秒 : 検知後、30 秒間点灯します。( 2 参照 )  
60 秒 : 検知後、60 秒間点灯します。( 2 参照 )

- 1 . 歩行テスト終了後は、スイッチを「30 s」または「60 s」に設定してください。人を検知しなくなってから設定時間後に消灯します。点灯中に検知すると、その検知から設定時間さらに点灯し続けます。
- 2 . スwitchの位置が 30 s / 60 s の時のライト点灯のタイミングは、昼夜別機能で設定された明るさで行われます。

センサ感度切換

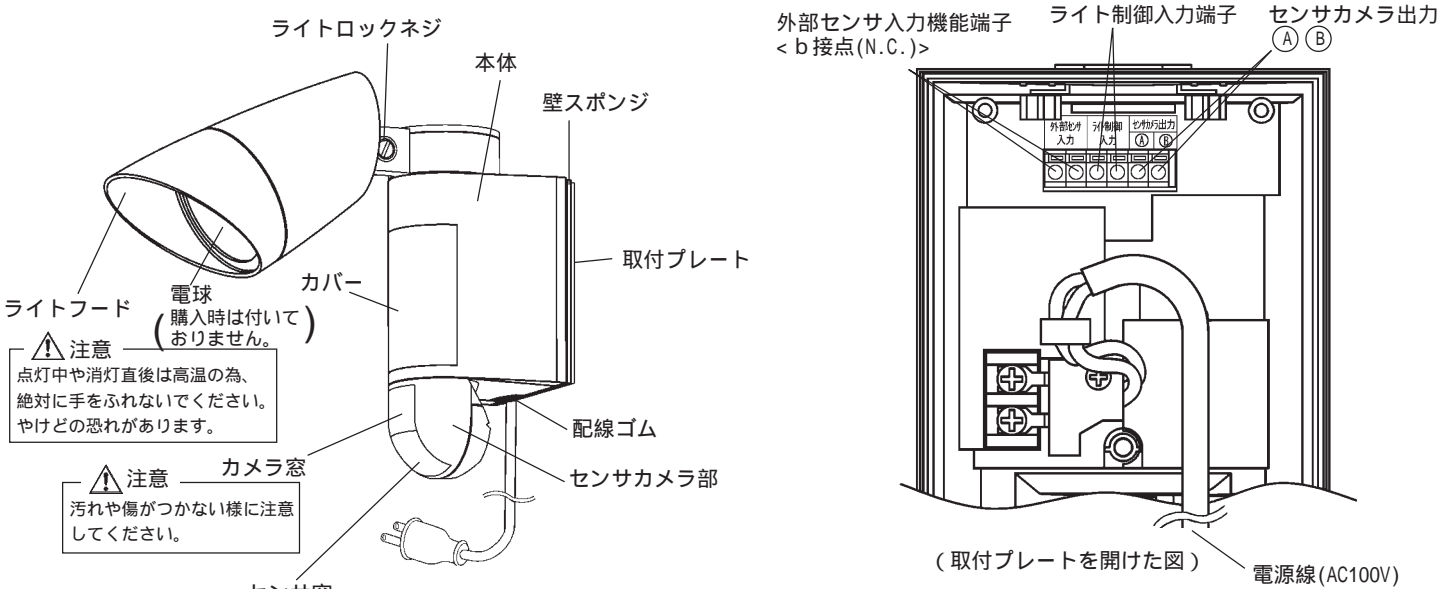
本体のセンサ感度切換スイッチにより、人を検知する感度を 3 段階に切り換えることができます。環境に応じて設定してください。

出荷時の設定 : 「M」

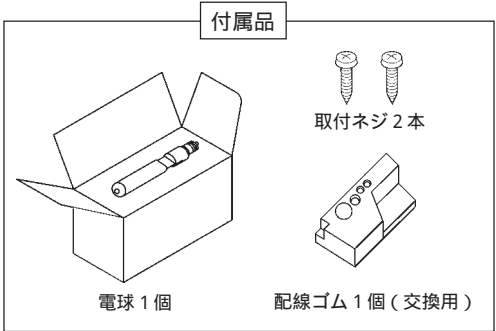
- H ( 高 ) : 感度が高くなります。  
( 検知しにくいときに設定します。 )  
M ( 中 ) : 通常この位置でお使いください。  
L ( 低 ) : 感度が低くなります。( 誤動作が多い時に設定します。 )

外部センサ入力に接続されたセンサの感度は変わりません。

3 . 各部名称

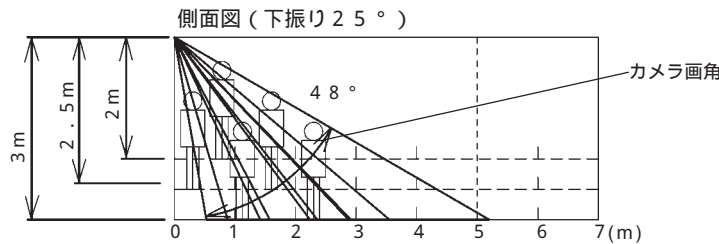
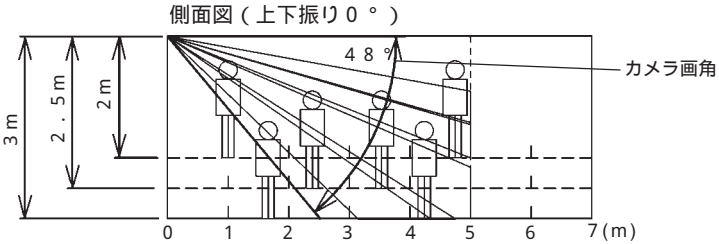
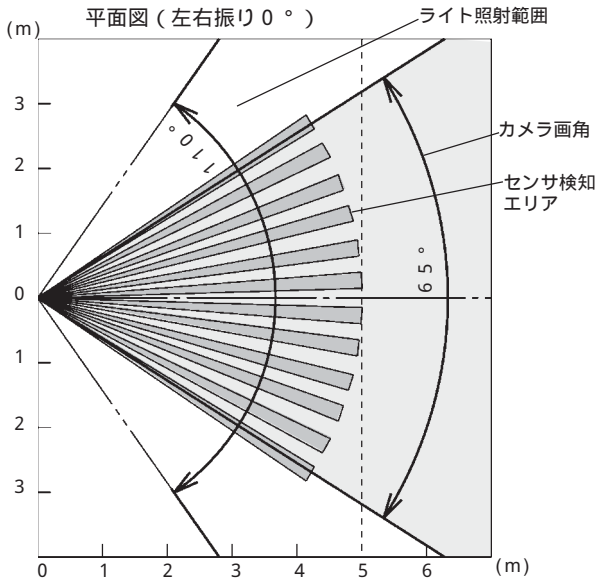
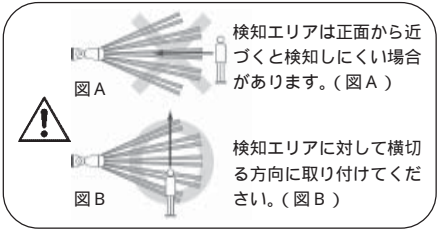


- 注意**
- ・ 点灯中や消灯直後は高温の為、絶対に手をふれないでください。やけどの恐れがあります。
- 注意**
- ・ 汚れや傷がつかない様に注意してください。
- 注意**
- ・ 汚れや傷がつかない様に注意してください。

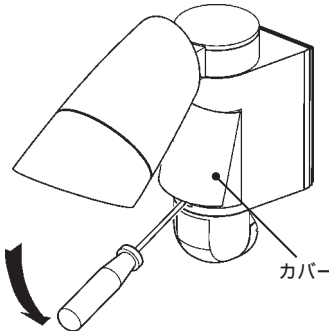


4 . エリアと画角

カメラ画角	水平画角	垂直画角
	65°	48°

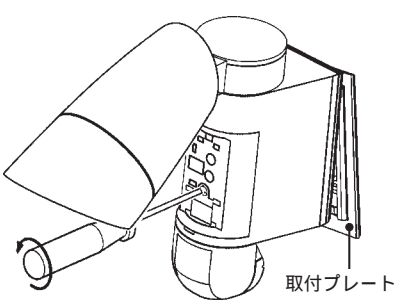


5 . 設置方法



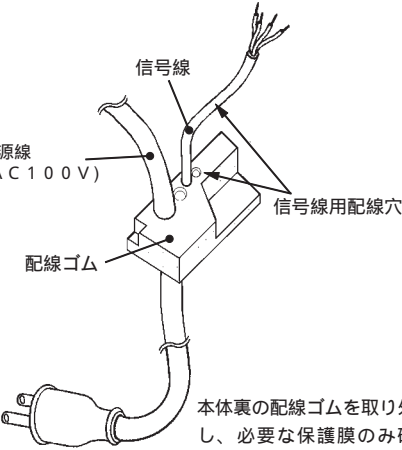
カバー

付属の電球を取り付けてください。電球の取り付け方は、「7 . 電球の交換」を参照してください。カバーを軽く持ちながら下部のミゾにマイナスドライバーなどを差し込み、矢印の方へ下げてカバーを取りはずします。



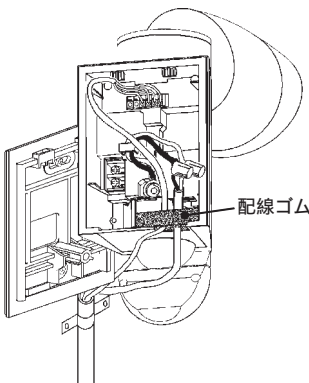
取付プレート

ロックビスをゆるめ、本体と取付プレートははずします。




信号線  
電源線 (AC100V)  
信号線用配線穴  
配線ゴム

本体裏の配線ゴムを取り外し、必要な保護膜のみ破り、信号線を指定の配線穴に通します。

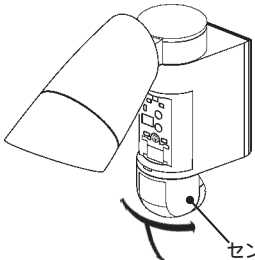


配線ゴム

「8 . 配線方法」を参照し、配線を行ってください。結線した後、配線ゴムを戻してください。配線と配線ゴムの間に隙間が空く場合は、必ずコーキングで埋めてください。

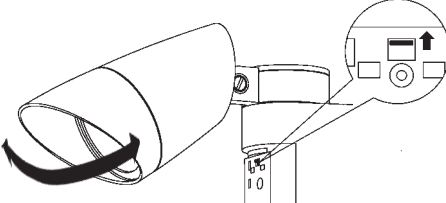


カメラとセンサの向きを調整します。

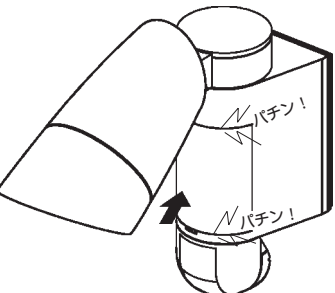


センサカメラ部

カメラ窓についている保護フィルムをはがしてください。本体の電源を入れた後、親機 (VS - 100) の電源を投入します。電源を投入後、約30秒はウォーミングアップ状態です。ウォーミングアップが終了すると、ライトが2回点灯し、動作可能状態になります。約30秒待っても点灯しない場合は、もう一度配線を確認してください。(「8 . 配線方法」参照) ライト点灯時間切換スイッチを『Test』にします。モニターを見ながら、センサカメラ部を必要な向きに調整し、映像とセンサが検知することを確認してください。



左右方向を調整します。調整が終わったらロックノブを上げてランプを固定してください。ロックノブが上まで上がらない時はランプを少し左右に動かしながら上げてください。



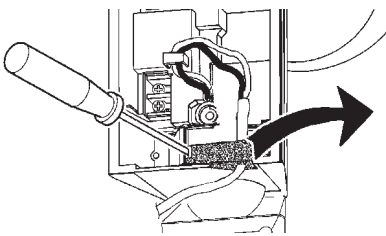
調整・動作のテストが終了したら、ライト点灯切換スイッチを30sまたは60sに設定し、カバーをしっかりと閉めてください。

6 . その他の設置方法

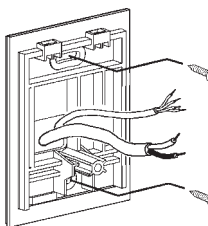
**警告**

電源線の加工を伴う設置工事は、電気工事士の資格を持った人や専門の工事店にご依頼ください。一般の方の工事は、法律で禁止されています。

壁内配線を行う場合



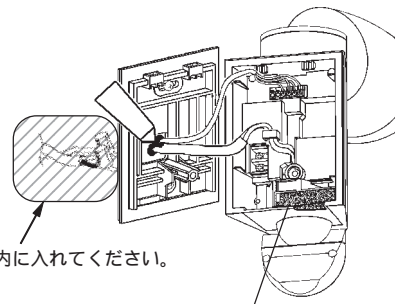
配線ケーブルの付いた配線ゴムを取り外し、代わりに付属の配線ゴムを取り付けて、本体下部の配線穴を埋めてください。タイル面などの、取り付け面に凹凸がある場合や、隙間の大きな外壁に取り付ける際は、必ず取り付け面の溝や隙間をコーキングで埋めてください。



壁内からの配線を、取付プレートの配線穴部の壁スポンジを破って通します。所定の位置に取付プレートを取り付けます。配線まわりのコーキングは本体取り付け直前に行ってください。

**注意**

防水が不完全な場合、機器の故障や火災・感電の原因になります。

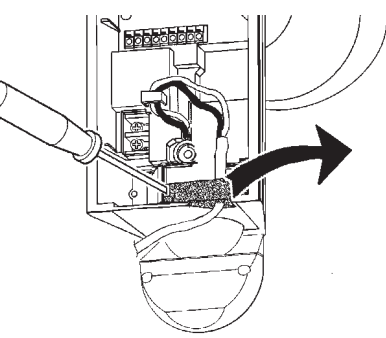


壁内に入れてください。

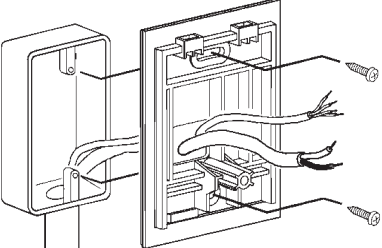
付属の配線ゴム

電源及び必要な配線を結線してください。配線を壁内に戻してください。この後、配線穴部の隙間を埋めてください。配線は「8 . 配線方法」を参照してください。

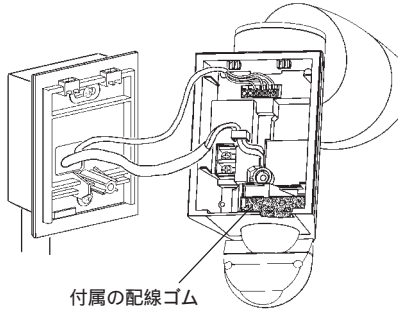
屋外スイッチボックスを使用する場合



配線ケーブルの付いた配線ゴムを取り外し、代わりに付属の配線ゴムを取り付けて、本体下部の配線穴を埋めてください。



スイッチボックス内からの配線を、取付プレートの配線穴部の壁スポンジを破って通します。




付属の配線ゴム



電源及び必要な配線を結線してください。結線部までをスイッチボックス内に入れてください。本体を取付プレートに固定します。

7 . 電球の交換


**警告**



電球の交換の際は、右記の電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると火災の原因となります。



感電防止のため、電球の交換の際は親機電源とAC電源を切ってください。濡れた手での作業も感電の原因となります。(本体が雨などで濡れているときも触れないでください。)

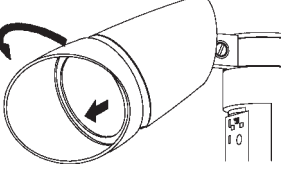


点灯中や消灯直後は電球・ライトフードやその周辺が高温の為、絶対に手をふれないでください。やけどの恐れがあります。電球・ライトフードが十分冷えたことを確認してから行ってください。

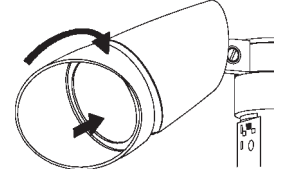
交換電球

ミニハロゲン球 (口金:E-11)

・JD 120V 100W
・JD 110V 85W
・JD 110V 90W



ライトの灯体部分を持ちながら、ライトフードを左に回してはずしてください。中の電球も左に回してはずしてください。



新しい電球を取り付けます。電球を素手で触らないでください。電球が汚れると寿命が短くなります。ライトフードを右に回し、しっかりと止まるまで締めてください。